



理数科 1 年校外研修

11月4日 岐阜県最先端科学技術体験センター(瑞浪市)

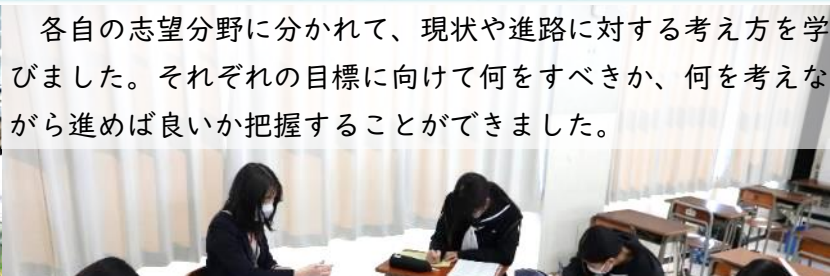
『科学捜査入門』、『結晶でアボガドロ数の測定』の2つの実験を行った後、『液体窒素のサイエンスショー』を見せていただきました。大満足の1日となりました。



1・2年生分野別進路説明会（進路ガイダンス）

11月7日

各自の志望分野に分かれて、現状や進路に対する考え方を学びました。それぞれの目標に向けて何をすべきか、何を考えながら進めば良いか把握することができました。

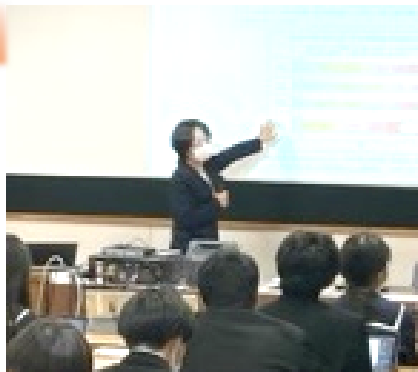


理数科 1・2年生出前講座

11月11日

大阪大学大学院 国際公共政策研究科 小原美紀教授をお招きし、「経済学を研究するということ、研究者になるということ」という題目で講演していただきました。経済学について、身近な例を用いて説明していただき、経済学の面白さに触れることができました。文系学問と考えていた経済学で数学を用いることに生徒達は驚き、学習への意欲をより高めることができました。

小原美紀教授ありがとうございました。



人権LHR

11月16日 ひびきあいの日

ひびきあいの日でのLHRでは、社会や身近な生活の中にある人権問題について、各クラスでテーマを設定し、意見交換を行いました。今回のLHRで得た事は、今後の人との関わりの中で実践していけると思います。

～各クラスのテーマ～

クラス	テーマ
1A	コロナ差別について
1B	安楽死、尊厳死
1C	安楽死、尊厳死
1D	死刑制度の是非
2A	LGBT
2B	インターネットを悪用した人権侵害をなくそう
2C	障がいや理由とする偏見や差別をなくそう
2D	死刑制度の是非
3A	生きる権利
3B	外国人の人権を尊重しよう
3C	LGBTQ
3D	医療現場での人権



昼食の様子

新型コロナウイルス感染症対策のため、黙食です。少しでも楽しい時間になるよう生徒会が音楽を流しています。





YCK PROJECT REPORT

地域課題解決型キャリア教育「吉高地域キラメキプロジェクト」

地域をフィールドに多様な人とのつながりが価値ある学びをつくる

第 8 号

8 月 29 日

2022

発行

学校設定科目「国際理解探究」で「第 1 回台湾新港文教基金会とのオンライン交流会」を実施しました！

学校設定科目「国際理解探究」では、

飛騨市古川町と「まちづくり」をテーマに 20 年以上にわたって交流してきた「新港文教基金会」に所属する学生ボランティアのみなさんとお互いの国の自然・文化・歴史・魅力・課題について英語で学び合います。

「第 1 回台湾新港文教基金会とのオンライン交流会」

◆日時：令和 4 年 8 月 6 日(土)8:30～12:00

◆場所：吉城高校

◆参加者：台湾新港文教基金会

吉城高校 1 年(4 名)、2 年(11 名)



オンライン交流会は昨年度に引き続き、今回で 3 回目です。本来であれば、夏休みに新港郷でホームステイ研修を行います、コロナ禍のため、今年度も新港文教基金会のみなさんに直接お会いすることができません。しかし、今できる範囲で、先人たちが築いてきた絆を受け継いでいこう！と、交流会を企画しました。

*生徒が着ている T シャツは、新港郷の新庁舎が完成した記念に作られたものです。



この「国際理解探究」の授業では、生徒は地域の様々な課題を解決する探究活動に取り組んでいます。

今回の交流は、「地域の郷土料理」「地域猫の保護活動」「地域の観光」「今の時代にふさわしい校則」の4つのテーマについて、本校の生徒と新港郷の学生が英語を使って意見交換したことを、今後の探究活動に生かすことが目的です。



校則についての議論では、学校でもカジュアルな服装が許可されてきたが、以前は靴下の色について規制があったことなどが新港郷の学生から紹介されると、本校の生徒は自分たちの現状と比較しながら質問していました。

フリートークの時間では、飛騨から送ったお菓子や日本のインスタントラーメンについての話題で盛り上がり、新港郷から届いた酸辣湯(さんらーたん)のインスタントスープの感想を伝えたりしました。

そして交流会後は、画面越しに集合写真を撮ったり、SNS の連絡先を交換したりして、交流を深めていました。



次回は 11 月に、交流会の第 2 回を開催する予定です。最後に、新港郷とのやり取りや日程調整などでご協力いただいた飛騨市役所の方々、交流していただいた新港郷の皆さん、ありがとうございました。



ご意見・ご感想などは、吉城高校・キャリア推進部までお問い合わせください。

☎ 0577-73-4555